

楽しいクワガタ

一宮東部小・2 ぶごとう かんた

ぼくは、夏休みにクワガタをつかまえに行きました。お父さんと、お父さんの会社の森さんとまおくんで行きました。夜の八時に車で行きました。とてもくらかったから、こわかったです。でも、一匹はつかまえたと思っていたから、がまんしました。

だんだんかぶと虫公園が近くなって、クワガタがつかまえられるか、ドキドキしてきました。かい中電とうとスマホと虫かごをもって行きました。かぶと虫公園のフェンスのうらでさがしました。

はじめに、まおくんが、

「あれ、クワガタじゃない。」

と言ったので、木をひろってなげたけど、とれなかったです。だから、木にのぼってとってもらいました。おちたクワガタをぼくがふんでしまつて、ひんじじょうたいだったけど、虫かごに入れたらうごいたので、よかったです。

つぎに、カブトムシを木で見つけました。木の高い場しよにいたので、とろうとしたら、とんで行ってしまいました。ぼくは、どこに行つたのかなと思いましたが、そしたら、森さんが、

「これをさしあげよう。」

と言って、虫かごに入れました。ぼくは、やったあとと思って、

「ありがとうございます。」

と言いました。

あんまりカブトムシがいなかったもので、本ぐう山のてんぼう台まで行きました。木がいっぱいあって、クワガタがいそうだったけど、いなくてざんねんでした。でも、ぜんぶで五ひきもつかまえられてうれしかったです。

つかまえた虫をかぶと虫公園でライトでてらしてみました。一番大きいクワガタがぶんぶんとび回ったり、ほかのクワガタをぶんづけたりしていて、かわいそうだなと思いました。

「やめな。」

と言ったけど、やめなかったです。

つぎの日にまたクワガタを見ました。そしたら、みんな土の中にもぐっていました。クワガタの家はぼくの顔一つ分くらい広いです。

夜に、クワガタが出ていたのでさわりました。後ろからそつとせ中をつまんでつかまえました。せ中からつまむのは、はさまれないからです。それを手のひらにのせて、よくかんさつしました。ぜんしんがまつ黒で、とてもかっこよかったです。大きなはさみがあつてとんがっています。その間に小さなとげがあります。さわろうとしたけど、はさまれたらいたいで、さわれませんでした。

ある日、クワガタを見ようと土をほってみました。たまごかなと思つてほりおこしたら、それはクワガタのしがいでした。それを見つけたとき、ぼくの目からなみだが出てきました。ぼくは、声を出さずにずつとずつとなきました。

つぎの日、お父さんとぼくでおはかを作りました。

「天国でもがんばつてね。」

と言って、うめました。また来年もつかまえてかいたいです。